

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-1 美濃手すき和紙支援事業		担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	古田 一貴
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	114 美濃手すき和紙後継者の育成・支援（113 和紙産業の振興と新商品の開発支援）		
	施策名（評価単位）	(24) 和紙産業の振興		

2. 事務事業の目的	美濃手すき和紙産業振興及び伝承するために美濃手すき和紙製造技術等の保存及び後継者の育成を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成25年度）	美濃手すき和紙製造技術等の習得に意欲を有する者、習得後和紙製造業に従事する者、美濃手すき和紙協同組合が推薦するものに月額5万円の奨励金を支給 H23（2名）、H24（1名）、H25（2名）美濃手すき和紙協同組合へ357,000円の補助金を交付します。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	1,793,000	957,000	2,057,000	1,804,000	
② 人件費	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	
③ 合計コスト ①+②	5,393,000	4,557,000	5,657,000	5,404,000	
前年度比 (%)		84.5%	124.1%	95.5%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	1,435,000	600,000	1,447,000	1,400,000
	一般財源	3,958,000	3,957,000	4,210,000	4,004,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,696,500.0	4,557,000.0	2,828,500.0	2,702,000.0	
前年度比 (%)		169.0%	62.1%	95.5%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	奨励金支給対象者が増えたことによります。				

(3) 活動指標	指標名	奨励金支給対象者数				単位:	人
	指標説明	美濃手すき和紙後継者を育成することにより和紙産業振興を図ります。					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	2	1	2	2		

(4) 成果指標	指標名	需要開拓に関する事業				単位:	件	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	実績の105%							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	9	8	12	9				
	実績値	7	11	8					
達成度 (%)	77.8%	137.5%	66.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
高齢化に伴い、各個人の特徴ある技術を受け継ぐ後継者の確保をさらに進める必要があります。しかし、後継者の育成に当たっては、志を持つ希望者と指導者の思いが一致しないと伝統を守り、継承していくことに問題が生じています。後継者を指導してくれる職人がなかなか見つからない現実があり、美濃和紙の里会館が後継者の育成を行うことも視野に入れていく必要があります。指導者と後継者の販路拡大・新製品開発を別々に考えるのではなく、美濃和紙として総合的に支援していくことへの見直しが必要となっています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
手すき和紙後継者の確保を図るため、広報やホームページ掲載により、支援制度の周知徹底します。また、今年で2回目となる「みの紙まつり」を開催、直接消費者のニーズを調査し製品の販売促進を図ります。和紙の里会館で新たに、紙製品の販売と美濃和紙のPRを行うイベント「紙板まつり」を開催しました。今後恒例行事として定着させていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
伝統的産業として残していく以上、後継者の育成は不可欠であるため、引き続き事業は継続していく必要がありますが、指導者の確保が難しくなっています。現在までは、各工房に依頼をしてきましたが、美濃和紙の里会館にてその役割を担うことも考えていく必要があると思われます。また、本美濃紙の手すき和紙の技術がユネスコ無形文化遺産に登録される見込みもあることから、今後は本美濃紙保存会との協力もしていく必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-2	美濃和紙の里会館運営事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	船戸 友数
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	116 和紙の里の整備		
	施策名(評価単位)	### 和紙産業の振興		

2. 事務事業の目的	美濃和紙文化の発展に貢献するため、美濃和紙の里会館の適正な管理運営を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	予算科目中、美濃和紙の里会館業務委託（受付・売店・体験等）体験経費、和紙スクール経費、売店予算経費、和紙の里施設管理経費を合わせて、美濃和紙の里会館運営業務とし、会館の適正運営を図りました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	47,502,000	43,567,000	45,448,000	45,292,000
② 人件費	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000
③ 合計コスト ①+②	52,702,000	48,767,000	50,648,000	50,492,000
前年度比 (%)		92.5%	103.9%	99.7%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	52,702,000	48,767,000	50,648,000
④ 活動一単位当たりコスト	171,110.4	158,850.2	163,909.4	163,935.1
前年度比 (%)		92.8%	103.2%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	308	307	309	308		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	年間入館者数							
	目標値の設定方針	前年度105%							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	34,498	36,705	41,385	34,047				
	実績値	34,958	39,415	32,426					
	達成度 (%)	101.3%	107.4%	78.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>小学4年生の副教材に紙すきを取り上げられたことで、体験者数を多く確保したものの、入館者数が減少しました。今後の体験者数を維持するために、小学4年生の紙すき体験が、卒業証書制作などの新たな需要へ結びつくような広報を行う。美濃和紙の里全域の観光資源を活用し、会館への誘客を行っていく必要があり、観光会社との提携を模索する。収入が減少していく中で、施設設備にかかる費用の削減は難しいため、人件費など会館を管理する上での経費を削減していく必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>小学校の社会見学での利用が増加傾向にあるため、確実に見込める入館者として、学校に対するPR活動の一層の強化するため、予約確認表の送付、打合せ表の学校との共有、終了後の礼状発送を行っています。入館の際に滞在時間を有効に使えるサービス（無料体験、100円でのうちわの骨販売、工作情報等）を提供し、顧客満足度を向上させている。外国人に対応できるように、ホームページフェイスブックには英訳を併記している。また、クレジットカードを導入しました。Wifi対応を進めている。和紙の里会館を中心にこの地域全体を観光地化し、入館者の確保に努める。観光大使としての役割を担っていただけるように地域の人の利用促進に努めます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	辻 幸子
<p>老朽化による施設の維持管理に経費が相当かかり、この経費の削減は難しい状況ですが、和紙の産地であるため、引き続き会館の運営は必要です。しかし、収入源となる入館者は減少傾向にあり、入館者を確保するために様々な工夫を行っていますが、時代に即した展示・企画の内容に改めることを模索しながら、常に新しい感覚の和紙を見せていくことが出来るようにしていきます。</p>			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-3	美濃市仁輪加連盟補助事業	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	117	文化・芸能・芸術を活かした観光事業の展開と後継者の育成	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	仁輪加の保存・継承を促進するとともに、観光PRと観光客誘致のために市仁輪加連盟を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	美濃市の伝統芸能である美濃流し仁輪加の保存・継承を行っている美濃市仁輪加連盟に対する補助。 (実績) 委員会開催数：7回 イベント等出演数：6回 コンクール観客動員数：1,300人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	46,000	46,000	46,000	46,000
② 人件費	800,000	800,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	846,000	846,000	926,000	926,000
前年度比 (%)		100.0%	109.5%	100.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	846,000	846,000	926,000
④ 活動一単位当たりコスト	169,200.0	169,200.0	154,333.3	154,333.3
前年度比 (%)		100.0%	91.2%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	イベント等出演数				単位:	回
	指標説明	連盟に依頼のあったイベント等への出演数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	5	5	6	6		

(4) 成果指標	指標名	来場者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃まつりに行われる仁輪加コンクールの会場への来場者数							
	目標値の設定方針	前年度実績の100%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	1,155	1,260	1,300	1,340				
	実績値	1,200	1,300	1,300					
達成度 (%)	103.9%	103.2%	100.0%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃市仁輪加連盟による美濃流し仁輪加の保存・継承は行われており、若者の参加が盛んになっている町内が多くなっています。連盟会長に他団体からの出演依頼があり、仁輪加の歴史等の周知も行うことができました。国選択無形民俗文化財保存のための費用については市補助で対応し、美濃市仁輪加連盟の運営やコンクール等を賄う財源については自主財源化が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
会費等による自主財源確保での運営、活動を行うことが必要であることを認識していただきます。仁輪加コンクールの賞金の見直しをします。(現行1位10千円、2位8千円、3位7千円、4~15位5千円⇒1位10千円、2位8千円、3位7千円の据置で、4位以下の賞金を無しにします。)		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
仁輪加は、美濃市の伝統芸能として欠くことのできないものであるため、連盟の存続は必要です。イベントへの出演依頼も多く、継続して活動していくためには会費等の見直しを行い、連盟自体の自主財源確保と運営が必要です。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-4	小倉公園等維持管理経費	担当課	観光課
			作成者	幅 昭徳
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118	観光拠点の整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	安全で快適に利用してもらえるよう維持・管理します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の木防虫駆除・危険木等伐採、松の木剪定・草刈、下刈 ・小動物の管理、飼育、補充 ・トイレ管理 ・遊具管理、増設 ・桜祭り雪洞照明設置 ・嘱託職員2名による維持・管理

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	9,551,319	12,190,493	9,104,230	8,661,000
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	10,751,319	13,390,493	10,304,230	9,861,000
前年度比 (%)		124.5%	77.0%	95.7%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	10,751,319	13,390,493	10,304,230
④ 活動一単位当たりコスト	25,003.1	31,140.7	23,963.3	22,932.6
前年度比 (%)		124.5%	77.0%	95.7%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度には新規遊具の設置が無かったことによります。			

(3) 活動指標	指標名	嘱託職員業務実施日数				単位:	日
	指標説明	嘱託職員2人の1年間の勤務日数(年間215日勤務×2人)					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	430	430	430	430		

(4) 成果指標	指標名	入園者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	小倉公園を訪れた地域住民・観光客等の利用者数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	45,862	39,193	34,390	42,459				
	実績値	37,327	33,704	40,437					
達成度 (%)	81.4%	86.0%	117.6%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>遊具が老朽化してきた為、新しい遊具を導入し入園者の増加に務めました。 小倉公園の桜の木の老木化が著しいため、改善する必要があります。 景観重要樹木の保育・管理及び保全に努める必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>小倉公園のイベントとしてふれあい動物園を継続して開き、入園者を増やす工夫をする必要があります。 危険木、枯渇木の伐採等の景観整備により、景観重要樹木を保全する必要があります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
<p>小倉公園は市民の憩いの場、交流の場として広く利用されています。公園の他にも近隣にはない小動物園が併設されており、観光客も訪れています。また、春には桜の名所として多くの市民の方々や観光客で賑わいを見せているため、引き続き観光客、市民の憩いの場として安全・快適に利用できるよう継続して維持・管理をしていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要					
事務事業名	32-5	町並みギャラリー維持管理経費		担当課	観光課
				作成者	幅 昭徳
施策体系	行政分野	⑧産業・観光		施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実			
	施策名(評価単位)	(25) 観光交流の促進			

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 和紙ちぎり絵同好会と和紙手芸同好会に作品展示と施設清掃を委託しました。(平成25年度委託料 604,000円/年) 施設の維持・管理を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	1,069,470	1,082,631	1,346,814	1,311,000
② 人件費	800,000	800,000	1,040,000	240,000
③ 合計コスト ①+②	1,869,470	1,882,631	2,386,814	1,551,000
前年度比 (%)		100.7%	126.8%	65.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,869,470	1,882,631	2,386,814
④ 活動一単位当たりコスト	6,129.4	6,152.4	7,851.4	5,052.1
前年度比 (%)		100.4%	127.6%	64.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度はエアコン設置、ネット環境整備のため増加しています。平成26年度は業務量の見直しにより減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明	山田家住宅開館日数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	305	306	304	307		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	町並みギャラリー山田家住宅を訪れた観光客数							
	目標値の設定方針	前年度の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	14,819	11,691	11,465	11,481				
	実績値	11,135	10,919	10,934					
達成度 (%)	75.1%	93.4%	95.4%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
当館は旧今井家住宅・美濃史料館やあかりアート館等の観光施設ほど知名度がなく集客力が弱いことが課題です。うだつの上がる町並みにある観光スポットとして観光客に対し積極的なPRや案内等を行い町並みギャラリー山田家の認知度を向上させる必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
近隣に旧今井家住宅・美濃史料館やあかりアート館、観光協会があるため、これらの施設を訪れた観光客に山田家住宅への案内を行います。Wi-Fiを充実させて、観光客の利便性を高めていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
町並みにある古い建物としては維持していく必要があります。町並み全体への観光客誘致に向け、積極的にPRを行い、他施設から山田家住宅へも足を運んでもらえるよう案内を行っていきます。また、現在は2つの団体に施設展示と清掃を委託していますが、今後、広く利用していただくような取り組みも必要だと思われます。また、施設の老朽化も進んでいますが、景観を維持していくために適切に修繕しながら、古い家屋を残していく必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-6	旧名鉄美濃駅施設管理経費	担当課	観光課
			作成者	幅 昭徳
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118	観光拠点の整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営に関する業務を美濃市観光協会に委託。 平成25年度の年間施設利用者数は、7,300人。(平成24年度：7,300人) 平成25年度の年間施設開放日数は、308日。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	4,660,200	3,522,000	2,733,650	605,000
② 人件費	400,000	400,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	5,060,200	3,922,000	3,613,650	1,485,000
前年度比 (%)		77.5%	92.1%	41.1%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	5,060,200	3,922,000	3,613,650
④ 活動一単位当たりコスト	16,482.7	12,733.8	11,732.6	4,837.1
前年度比 (%)		77.3%	92.1%	41.2%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度は展示車両の修繕(1,642千円)と駅舎の耐震診断、現況調査(515千円)を実施しました。平成26年度はその事業分が減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	施設開放日数				単位:	日
	指標説明	旧名鉄美濃駅の年間施設開放日数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	307	308	308	307		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	旧名鉄美濃駅へ入館した観光客数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	7,140	6,405	7,665	7,665				
	実績値	6,100	7,300	7,300					
達成度 (%)	85.4%	114.0%	95.2%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>展示車両の老朽化に伴い、塗装修繕をしました。 駅舎の老朽化が進んでおり、耐震、現況調査を行ったが、今後継続的に修繕をする必要があります。 美濃市のメイン観光地であるうだつの上がる町並みより少し離れているため、観光客に認知されておらず訪問者数が少ないことが課題であります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
長良川鉄道美濃市駅からうだつの上がる町並みへ観光客を誘導する中間地点に位置する旧名鉄美濃駅の利用を増やすために、町並みや長良川鉄道にPR用のパンフレット等を設置したり、雑誌等への掲載により認知度を高めます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
車両を展示し当時の状態を再現していますが、電車の展示がメインとなっているため、訪れる人も少ないです。文化財施設として存続させ、駅舎を使つてのイベントだけでなく、話題性を持たせるなど、観光客の増加に向け、積極的な展開を試みていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-7	旧今井家住宅施設管理経費	担当課	観光課
			作成者	幅 昭徳
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118	観光拠点の整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃史料館及び催しもの蔵での企画展の実施しました。 ・町並みボランティアの研修(年1回)の実施しました。 ・ホームページやマスコミを利用した観光客の誘客活動を行いました。 ・施設修繕、庭木の剪定を行いました。 ・平成25年度の年間開館日数は、343日でした。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	2,688,000	2,132,057	2,097,828	2,143,000
② 人件費	1,600,000	1,600,000	2,400,000	1,600,000
③ 合計コスト ①+②	4,288,000	3,732,057	4,497,828	3,743,000
前年度比 (%)		87.0%	120.5%	83.2%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	4,288,000	3,732,057	4,497,828
④ 活動一単位当たりコスト	12,393.1	11,009.0	13,113.2	11,074.0
前年度比 (%)		88.8%	119.1%	84.4%
⑤ コストに関する増減理由(25年度実績、26年度見込)	平成25年度は業務量の見直しにより増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明	旧今井家住宅・美濃史料館の年間開館日数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	346	339	343	338		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	旧今井家住宅・美濃史料館へ入館した観光客数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	26,877	29,516	25,199	23,422				
	実績値	28,111	25,661	22,306					
達成度 (%)	104.6%	86.9%	88.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>昨年、建物等の耐震診断及び耐震補強工事の概算算定を行ったが、莫大な費用がかかります。庭木の選定が年に1回であり、その他は施設職員などで管理しています。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>庭木については業者の剪定が年1回であるため、その他の時期については、施設職員が管理を行う必要があります。定期的に壁漆喰の修繕などを行っていく必要があります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
<p>江戸時代から続く紙問屋の内部を見学できる施設であり、文化財としての価値もある建物です。しかし、老朽化が著しく、修繕、維持に経費がかかります。出来るだけ現状を維持するように修理・修繕を行っていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-8	美濃和紙あかりアート館施設管理事業	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名(評価単位)	(25) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・1階：ショップ 美濃市内の業者が創作した美濃和紙のあかり作品を展示・販売。商品の売上管理。(平成25年総売上 1,150,660円) ・2階：美濃和紙あかりアートミュージアム 毎年10月に美濃市で行われるあかりアート展の入賞作品を展示。入館者の管理。(平成25年度入館者合計 17,744人) ・建物管理 入館・販売・清掃等の管理をアルバイト職員2名(半年契約)で対応

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	3,776,280	3,479,621	3,490,440	4,081,000
② 人件費	1,600,000	1,600,000	2,800,000	2,000,000
③ 合計コスト ①+②	5,376,280	5,079,621	6,290,440	6,081,000
前年度比 (%)		94.5%	123.8%	96.7%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	5,376,280	5,079,621	6,290,440
④ 活動一単位当たりコスト	17,399.0	16,600.1	20,423.5	19,872.5
前年度比 (%)		95.4%	123.0%	97.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度は業務量の見直しにより増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明	美濃和紙あかりアート館の年間開館日数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	309	306	308	306		

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙あかりアート館2階ミュージアムへ入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	目標値	24,892	24,071	19,643	18,632		
	実績値	22,925	18,707	17,744			
達成度 (%)	92.1%	77.7%	90.3%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>入館者数は今年も減少となりましたが、インバウンド事業の取り組みもあり、あかりアート館での外国人入館者数は増加しました。1階ショップの平成25年度商品売上は、平成24年度に引き続き安価な商品の販売は好調でしたが、入館者数減少に伴い、全体の売上高は減少しました。今後も入館者を増やすためのPRや旅行会社との提携が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>ホームページ上でのPRを強化します。(季節に合わせたの展示レイアウトの変更等の周知。) 商談会等で旅行会社へのPRを強化し、有名観光地と合わせた周遊プランに組み込んでもらえるようにします。 平成25年度のあかりアート館入館者数と近くの観光施設である旧今井家住宅の平成25年度入館者数(22,306人)と比べると約4,500人違うので、旧今井家住宅・美濃史料館でのあかりアート館のPRを強化する必要があります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	辻 幸子
<p>2階では美濃和紙あかりアート展の入賞作品を展示し、年中あかりアート展を体験できるミュージアムとしているので、あかりアート展の魅力を伝える施設としては、効果的な施設です。 商談会等に旅行商品に組み込んでいただけるような施設としてPRしていく必要があります。 また、誘客に繋がるように定期的に作品入れ替えなどを行い、1階のショップについては、今後も特化した商品を置き、販売を伸ばせるようPRをしていきます。</p>			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-9	観光ふれあい広場維持管理経費	担当課	観光課
			作成者	幅 昭徳
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118	観光拠点の整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	駐車場及びトイレを安全で快適に利用してもらえるよう維持・管理を行うとともに、イベント会場として利用を促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの管理(清掃は、シルバー人材センターに委託。) ・光熱水費の管理 ・観光バス専用駐車場使用料の管理 ・上段及び下段普通車駐車場環境協力金の管理 観光ふれあい広場及び観光トイレ維持管理費 需用費(広場用消耗品、光熱水費) 629千円 委託料(トイレ清掃) 753千円 賃借料 1,094千円

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	2,861,127	2,608,013	2,537,722	2,393,000
② 人件費	2,080,000	2,080,000	2,000,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	4,941,127	4,688,013	4,537,722	3,593,000
前年度比(%)		94.9%	96.8%	79.2%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	4,941,127	4,688,013	4,537,722
④ 活動一単位当たりコスト	28,235.0	24,673.8	18,907.2	14,970.8
前年度比(%)		87.4%	76.6%	79.2%
⑤ コストに関する増減理由(25年度実績、26年度見込)	平成26年度は業務量の見直しにより減少になります。			

(3) 活動指標	指標名	トイレ清掃日数				単位:	日
	指標説明	トイレ清掃委託による清掃日数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	175	190	240	240		

(4) 成果指標	指標名	駐車場利用台数				単位:	台	評価:	+
	指標説明	観光駐車場(バス)利用台数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	867	776	681	723				
	実績値	739	648	688					
達成度(%)	85.2%	83.5%	101.0%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題
 観光バス専用駐車場使用料は、1,316千円の収入(前年度:1,232千円)がありましたが、減少傾向にあることから観光客及び旅行者への積極的なPRが必要です。観光ふれあい広場普通車駐車場の環境協力金は524千円の収入がありました。(平成24年度:587千円)
 観光トイレは、夏場になると川遊びに来る観光客の増加に伴い、ゴミをトイレ周辺に放置していく人が増えることから対策が必要であり、冬場になると凍結し、配管が破裂することがあるので注意が必要です。

6. 具体的な改善内容
 改善時期 平成26年4月
 旧美濃町中心街の駐車車両を観光ふれあい広場駐車場へ誘導し、駐車禁止区域での違法駐車や迷惑駐車等の解消を図っていきます。観光バスの駐車場に関する問合せがあったときは観光ふれあい広場を案内し、観光ふれあい広場の利用促進を行っていきます。観光トイレは夏場に利用客数が多く冬場は少なくなる傾向があります。その為、冬場は清掃回数を少なくし、夏場は毎日清掃するようにします。観光トイレ周辺のゴミ放置については看板を設置し注意を促していきます。観光トイレは冬場になると凍結し配管が破裂するおそれがあることから、外に出ている配管に気泡緩衝材を巻くなどの対策を行う必要が

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	辻 幸子
観光ふれあい広場については、今後も市民の憩いと集いの場及び観光客と市民の交流の場として、安全で快適に利用してもらえるよう引き続き維持・管理を行っていく必要があります。また、観光トイレについても市民、観光客に快適に利用してもらえるように清掃を委託し、破損箇所等が出た場合は随時修繕を行っていきます。また、夏場の観光トイレ周辺のゴミ放置については看板設置などの注意喚起により減らしていく必要があります。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-10	美濃市観光案内所施設管理事業	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118	観光拠点の整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設の充実、市内を快適に観光してもらえるよう維持・管理し、サービス向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ管理 ・光熱費管理 ・1階：観光案内所兼売店(各種観光パンフレットを設置) ・2階：美濃市観光協会事務局

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	864,000	3,245,400	864,000	864,000
② 人件費	160,000	160,000	240,000	160,000
③ 合計コスト ①+②	1,024,000	3,405,400	1,104,000	1,024,000
前年度比 (%)		332.6%	32.4%	92.8%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,024,000	3,405,400	1,104,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,852.4	9,485.8	3,101.1	2,876.4
前年度比 (%)		332.6%	32.7%	92.8%
⑤ コストに関する増減理由(25年度実績、26年度見込)	平成25年度は工事請負費が皆減したため。			

(3) 活動指標	指標名	営業日数				単位:	日
	指標説明	観光案内所の営業日数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	359	359	356	356		

(4) 成果指標	指標名	観光案内所の来訪者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	観光案内所に来た観光客数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	51,513	53,218	45,600	42,670				
	実績値	50,683	43,428	40,638					
達成度 (%)	98.4%	81.6%	89.1%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>観光客に安心して立ち寄っていただけるような観光案内所として、1階の売店や2階の事務所等の維持・管理に努めました。建物の老朽化が進み、屋上からの雨漏りや地下の溜水等が見受けられるので、長期使用を見据えた修繕・保全計画を考える必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>観光案内所として観光客に快適に利用していただくため、定期的に点検を行い適切な施設管理を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
<p>うだつ上がる町並みの中にあり、観光案内拠点としてなくてはならない施設であるため、定期的な点検等を行い現状維持に努めていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-11	観光PR・誘客促進事業	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実（121 観光交流事業の推進）		
	施策名（評価単位）	(25) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	市観光協会の支援と協働により、さまざまな媒体を活用して観光PRと観光客誘致を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成25年度）	<ul style="list-style-type: none"> 祭事委託費・奨励金（美濃まつり、大矢田もみじ谷）：2,611千円 平成25年観光客数 美濃まつり：60,000人 もみじ谷：45,000人 総合観光パンフレット（44,000部 970,200円） 国際観光パンフレット（簡体字8,500部、繁体字8,500部 410,550円） 美濃市観光用ビニール製手提げ袋（14,000部 220,500円） ノベルティグッズ美濃のおもてなし（5,900部 427,455円） Hitomi・るるぶ・秋ぴあ・各種新聞スポット広告掲載 e t c（1,150千円）

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位：円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	16,141,024	17,729,732	17,312,200	17,496,000
② 人件費	3,360,000	3,360,000	2,800,000	2,400,000
③ 合計コスト ①+②	19,501,024	21,089,732	20,112,200	19,896,000
前年度比 (%)		108.1%	95.4%	98.9%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	19,501,024	21,089,732	20,112,200
④ 活動一単位当たりコスト	577.0	565.4	667.1	602.9
前年度比 (%)		98.0%	118.0%	90.4%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	パンフレットの配布部数				単位：	枚
	指標説明	美濃市総合パンフレットの配布部数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	33,800	37,300	30,150	33,000		

(4) 成果指標	指標名	入り込み観光客数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	年間を通し当市を訪れた観光客数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	1,290,000	1,290,000	1,251,306	1,226,525				
	実績値	1,278,771	1,191,720	1,168,119					
達成度 (%)	99.1%	92.4%	93.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>イベントの開催及び観光PRイベントへの参加は観光キャンペーンとして市の観光PR及び観光誘客に繋がっています。しかし、年間を通じて観光客が訪れる効果的なPRや継続的なPRが出来ていない現状があります。観光協会では会員を増やし、会員理解の上で協会費の増額を図るなど、自主財源化を進めていくのが急務と思われる。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>年間を通して観光客が訪れるようにするためのイベント情報については十分にPR出来ているので、イベント後の継続的な取り組みやイベントを実感出来る施設などのPRを強化し、テレビ媒体等により観光PRされた場所・商品については継続的にPRしていく必要があります。観光協会については、会員への事業周知や団体観光客の入り込み情報を事前に流すなど受け入れ態勢を強化し、会員へのアプローチを充実させることを目的に勉強会等を開催し、スキルアップを図っていく必要があります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
<p>雑誌・テレビ等の取材はPR効果が高いので、引き続き行っていく必要があります。特にテレビ等の取材についても、PR効果が高いので要請があれば積極的かつ協力的に取り組むことが必要です。観光協会は数々のイベントを行い、美濃市の観光誘客に大いに貢献していますが、美濃市の観光における事業について、市と観光協会の役割分担を確認し、無駄を省く効果的な誘客活動を行っていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-12	美濃和紙の里会館企画展事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	須田 亜紀
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	122	美濃和紙のPRの推進	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の推進	

2. 事務事業の目的	様々な企画展示を開催し、美濃和紙の里美濃和紙文化の情報発信・発展に貢献します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	年間9回の企画展示を開催した 2013全国和紙画作家選抜展 3月23日～4月22日、クイリング&押し花展 4月25日～6月17日、和紙のしつらえ展 6月20日～7月15日、おりがみ展 7月18日～9月2日、絵手紙展 9月5日～10月14日、2013公募第26回全国和紙画展 10月17日～12月2日、美濃・紙の芸術村作品展 12月5日～1月13日、本美濃紙展 1月16日～3月24日、2014全国和紙画作家選抜展 3月27日～4月21日

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	11,785,000	10,453,000	9,307,000	15,934,000	
② 人件費	8,400,000	8,400,000	8,400,000	8,400,000	
③ 合計コスト ①+②	20,185,000	18,853,000	17,707,000	24,334,000	
前年度比 (%)		93.4%	93.9%	137.4%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	11,094,000	8,423,000	11,986,000	8,382,000
	一般財源	9,091,000	10,430,000	5,721,000	15,952,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,242,777.8	2,094,777.8	1,967,444.4	2,703,777.8	
前年度比 (%)		93.4%	93.9%	137.4%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成26年度は、市制60周年及び開館20周年記念のため特別企画を開催するため事業費が増				

(3) 活動指標	指標名	企画展開催回数				単位:	回
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	9	9	9	9		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度比105%						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込			
	目標値	34,498	36,705	41,385	34,047			
	実績値	34,958	39,415	32,426				
達成度 (%)	101.3%	107.4%	78.4%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
H25年度は、特に夏場の集客が悪く入館者数が激減してしまいました。集客につながるような内容の企画展を選定する必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
開催時期を移動できない企画展(全国和紙画展や美濃・紙の芸術村作品展)もありますが、予定を立てる段階からその時期の来館者の形態に合うような内容のものを選定します。 冬など集客が減少する時期は、近隣からの来館者を臨めるような内容の企画の開催を考えます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
主に紙に関係した企画展を計画していますが、内容によって来館者数の変動も大きいように思われます。開催時期・ターゲットを絞り込むことによって、より魅力ある企画展を計画していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-13	観光施設整備事業	担当課	観光課
			作成者	柴田 勝己
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118	観光拠点の整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、観光施設の整備・保全計画を策定し、計画的な観光施設の整備・改修します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	美濃市和紙の里周辺整備計画の策定 ① うだつの上がる町並みと川湊公園との連携・活用・整備 ② 旧牧谷街道の景観整備 ③ 美濃橋及び川湊公園周辺の整備 ④ 旧須田万右衛門邸の保存・活用・整備 ⑤ 長良川鉄道美濃市駅と旧名鉄美濃駅周辺の活用・整備 ⑥ 和紙の里(牧谷地区)の整備 ⑦ 紙屋・川屋の保存・活用・整備 ⑧ 美濃和紙の里会館機能強化整備

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	0	3,171,000	6,903,750	0
② 人件費	0	720,000	1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	0	3,891,000	8,103,750	1,200,000
前年度比 (%)		#DIV/0!	208.3%	14.8%
財源内訳	国・県支出金		900,000	
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	0	3,891,000	7,203,750
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	432,333.3	1,157,678.6	300,000.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	267.8%	25.9%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度：整備計画策定が平成25年度に繰り越したことによる事業費の増加です。 平成26年度：整備事業の見直しによる事業費の減少です。(事業精査のため人件費は必要)			

(3) 活動指標	指標名	会議数				単位:	回
	指標説明	整備計画に係る会議の回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値		9	7	4		

(4) 成果指標	指標名	施設整備箇所				単位:	箇所	評価:	+
	指標説明	整備計画による施設整備の箇所数							
	目標値の設定方針	前年度実績の110%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値		1	2	1				
	実績値			0					
達成度 (%)	#DIV/0!	0.0%	0.0%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
平成25年度への繰越事業となっていた整備計画策定が年度末に策定されました。整備計画の範囲及び内容が広範囲であるため、効率よく効果的に進めらるよう考える必要があります。また、整備する施設等も多くあるため、優先度等を考えて整備計画を実施する必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
その計画に沿った施設整備を行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
整備計画が策定されたことにより、今後は計画に沿って事業を進めていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-14	広域観光と新たな観光事業の推進	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	119	観光ルートの整備と充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	地域間交流の拡大と広域観光の推進により交流人口の拡大及び観光産業の振興を図り、国内誘客と新たな観光事業として海外誘客を促進します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	地域間交流の拡大と広域観光の推進並びに国内及び海外からの誘客に関する事業を行うための負担金。 (実績) 事務レベル協議：8回、総会及び幹事会：5回、各市イベントへの参加：4回 交流バス：4回、少年サッカー大会の開催：1回 商談会への参加：3回、メディア訪問：10社 インバウンド事業：タイでの旅行会社セールスコール 23社 招聘事業：1回 PR事業：雑誌・アプリ掲載：3回

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	113,000	996,000	996,000	996,000
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
③ 合計コスト ①+②	1,313,000	2,196,000	2,196,000	2,196,000
前年度比 (%)		167.3%	100.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,313,000	2,196,000	2,196,000
④ 活動一単位当たりコスト	328,250.0	549,000.0	549,000.0	549,000.0
前年度比 (%)		167.3%	100.0%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	イベント参加数				単位:	回
	指標説明	各市で開催されるイベントへ参加した回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	4	4	4	4		

(4) 成果指標	指標名	交流人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	事業を通じて交流をした人数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	200	200	270	300				
	実績値	200	200	270					
達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
越前美濃街道広域観光交流推進協議会で事業を行うことにより地域内の住民が互いの地域を訪問し、地域間相互の理解を深めることで交流人口の増加を図ることができましたが、今後は県外からの誘客を進めていく必要があります。岐阜県観光連盟が実施した商談会や招聘事業に参加することにより、観光産業を取り巻く環境に対応し事業を行うことが出来ます。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
越前美濃街道広域観光交流推進協議会や関市・美濃市・郡上市・長良川鉄道(株)観光宣伝協議会として名称のブランド化や広域観光のPRを商談会等を通して、積極的に進めていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	辻 幸子
岐阜県観光連盟の観光戦略と歩調を合わせた取組みにより観光産業を取り巻く環境に対応して事業を実施することができました。近年、旅行形態の変化や観光スタイルが多様化し、東南アジアを中心とした地域からの外国人来訪者の急増など大きく変化してきているため、こうした環境に的確に対応するために市単独だけではなく、広域観光を重点的に引き続き取り組んでいきます。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-15	美濃和紙あかりアート展開催事業	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	5イベント
	総合計画上の施策名	123 新たなイベント文化の育成と既存イベントの文化の充実		
	施策名(評価単位)	(25) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	美濃和紙あかりアート展の開催の支援により、観光PR及び観光客増加を図るとともに、美濃和紙の振興及び保全・継承に寄与します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	美濃和紙あかりアート展を開催している美濃和紙あかりアート展実行委員会に対する事業費の補助。 (実績) 委員会開催数：20回 作品出展数：446点 来場者数：115,000人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	6,500,000	6,500,000	7,500,000	6,500,000
② 人件費	400,000	400,000	400,000	320,000
③ 合計コスト ①+②	6,900,000	6,900,000	7,900,000	6,820,000
前年度比 (%)		100.0%	114.5%	86.3%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	6,900,000	6,900,000	7,900,000
④ 活動一単位当たりコスト	363,157.9	383,333.3	395,000.0	341,000.0
前年度比 (%)		105.6%	103.0%	86.3%
⑤ コストに関する増減理由 (24年度実績、25年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	実行委員会開催数				単位:	回
	指標説明	実行委員会の年度内開催数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	19	18	20	20		

(4) 成果指標	指標名	観客数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙あかりアート展観客数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	71,400	113,400	112,350	120,750				
	実績値	108,000	107,000	115,000					
達成度 (%)	151.3%	94.4%	102.4%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
実績・知名度も上がり全国的にも注目される秋のイベントととして定着し、観光客の誘客に大いに貢献していますが、補助金に頼った運営からの早期脱却が今後の課題です。 平成20年度からは駐車場利用協力を徴収し、自主財源の確保しています。(23年度:879千円、24年度:1,226千円、25年度:1,457千円)開催回数も20回を数え、さらなる継続に向けて、今以上にステップアップした開催の形態や方法等の検討も必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
駐車場協力金以外に、展示会場来場者から協力金を徴収するなど自主財源の確保を考えています。 自主財源確保のためにメインステージや会場内での企業広告の掲載など民間活力を利用しています。 組織的なボランティアの強化等で適切な役割分担を図り、市民参加型のイベントとして事業への補助を行っています。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	辻 幸子
美濃和紙あかりアート展は、美濃市の一大イベントとして全国から注目を浴びており、観客動員数も市内のイベントでは、群を抜いており、引き続き開催をしていくことが必要です。 市民参加型のイベントとし確立するため、更なる、協賛等自主財源確保に努め、補助金額の精査を行っていきます。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-16	美濃市花火大会補助事業	担当課	観光課
			作成者	曾貝 和人
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	5イベント
	総合計画上の施策名	123	新たなイベント文化の育成と既存イベントの文化の充実	
	施策名(評価単位)	(25)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	美濃市花火大会を支援することにより、郷土を大切にすることを育むとともに、観光PRと観光客誘致を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	真夏の長良川河畔で行われる美濃市の夏の風物詩である美濃市花火大会を開催している美濃市観光協会に対する事業費の補助。 (実績) 委員会開催数：2回 花火打上げ数：1,000発（他 スターマイン 8基） 観客動員数：19,000人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	1,444,000	1,371,000	1,302,000	1,236,000
② 人件費	400,000	400,000	480,000	480,000
③ 合計コスト ①+②	1,844,000	1,771,000	1,782,000	1,716,000
前年度比 (%)		96.0%	100.6%	96.3%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,844,000	1,771,000	1,782,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,844.0	1,771.0	1,782.0	1,716.0
前年度比 (%)		96.0%	100.6%	96.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	花火打上げ数				単位:	発
	指標説明	美濃市花火大会花火打上げ数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	1,000	1,000	1,000	1,000		

(4) 成果指標	指標名	観客数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃市花火大会観客数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	23,100	23,100	24,150	19,950				
	実績値	22,000	23,000	19,000					
達成度 (%)	95.2%	99.6%	78.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
参加型の花火等を導入し観客の動員を図るなど、他の花火大会との差別化を行って誘客を図りました。現在の経済状況を反映し、協賛金や補助金の減少等により大会自体の規模縮小が避けられない状況であるため、今後、協賛金や補助金に頼らない開催資金の確立等が必要と考えられます。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
美濃の花火の独自性（山に囲まれて音がいい等）をアピールし、他地域の花火大会との格差を図り、協賛金の増加に繋げていく必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
景気低迷から、協賛金の減により、開催が危ぶまれることもありましたが、規模や関連イベントの見直しを行い、開催を継続しています。市民や観光客が参加する「告白花火」等を取り入れています。年々数が減少しているため、企画を変えていく必要があります。しかし、夏の風物詩として楽しみにしているイベントとして継続は望まれますが、協賛金額を見ながら、補助額を精査していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-17	外国人誘客交流事業	担当課	観光課
			作成者	柴田 勝己
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	5イベント
	総合計画上の施策名	124 国内外イベントの参加とPR		
	施策名(評価単位)	(25) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	美濃市海外交流促進協議会の支援による外国人観光客の誘客や交流促進を図るとともに、海外との産業交流を目指して、外国との積極的な交流事業を展開します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	美濃市海外交流促進協議会事業 (実績) ・台湾高雄市美濃区訪問団受入 ・日韓交流おまつり2012inソウル出演 ・韓国原州市韓紙開院訪問団受入 ・台湾高雄市美濃区友好交流訪問 ・台日友好交流推進講演会の開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	2,023,680	3,500,041	3,847,110	4,611,000
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,480,000	2,240,000
③ 合計コスト ①+②	4,423,680	5,900,041	6,327,110	6,851,000
前年度比 (%)		133.4%	107.2%	108.3%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源	1,000,000	1,000,000	0
	一般財源	3,423,680	4,900,041	6,327,110
④ 活動一単位当たりコスト	368,640.0	453,849.3	395,444.4	570,916.7
前年度比 (%)		123.1%	87.1%	144.4%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	外国人誘客事業が予算200万円に対し平成25年度は43万円の執行だったため。			

(3) 活動指標	指標名	誘客宣伝事業・観光PRの回数				単位:	回
	指標説明	海外メディア対応、海外訪問団視察対応、海外での美濃市PR					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	12	13	16	12		

(4) 成果指標	指標名	外国人観光客数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	旧今井家住宅、あかりアート館への外国人観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	目標値	211	212	250	575		
	実績値	202	473	548			
達成度 (%)	95.7%	223.1%	219.2%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
友好関係にある韓国原州市、台湾高雄市美濃区からの訪問団の受入、日韓交流訪問団参加などで交流の促進並びに観光PRを行い、海外からの産業・観光の誘客や交流を促進しました。 東海地区外国人観光客誘致促進協議会等の事業にも説教的に参加し、継続的に外客の誘致や交流促進を図ります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
年間を通じての計画的な交流や観光PRを行い、友好関係にある都市との産業や歴史に関する相互理解を深め、民間レベルの交流を行っていく必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	辻 幸子
当面は友好都市への訪問や受入に対する補助制度としての事業が主体となって進めていく必要がありますが、さらに民間が主体となる交流事業を進めながら誘客活動に繋げていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	